

様式 1

県立石岡第一高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和8年度）

学校の教育目標

(1) 創立 115 年の歴史と伝統を受け継ぎ、学科の特色を生かし、地域における教育の中核として「魅力ある学校」「信頼される学校」となる。
(2) 生徒一人一人が個性を伸ばし、将来の夢を実現するための知識・技能を身に付け、自信と誇りを持てる学校となる。
(3) あらゆる教育活動の場面で、生徒が主体的に行動し、活気に満ちた学校を目指す。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
探究の見方・考え方を働かせ、課題の発見・解決に向けた情報分析力や協働する力を養い、自己の在り方生き方を考える力を育む。	日々の活動を記録したものや、探求過程における自己評価、発表会での相互評価などを組み合わせ多面的に評価する。	個々の特性に応じ、ICT 機器の活用やスモールステップでの課題設定、視覚的な教具の提示等を行い、心理的・物理的な障壁を除く。

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（園芸科・造園科：課題研究）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1 年	自分の興味や適性に関する学問や職業について学ぶ。 グループワークやペアワークを行い、他者の意見に耳を傾け、自分の意見・考えを深める。	現時点での予定なし	主体的に学習に取り組む態度が身に付いている。 進路実現に向けて自ら努力する姿勢が身についている
2 年	前年度に学習した自分の興味関心に基づいた探究を土台に、地域や進路に関連する「課題解決型探究」に取り組む。地域課題や進路分野の諸問題を自分事として捉え、実社会での取り組みを調査。その過程で建設的な解決策を考察し、発表を行う。	地域の産官学（企業・行政・大学等）の各機関と連携し、現場で行われている実際の取り組みについてヒアリングや資料調査を行う。専門家や実務者の視点に触れることで、社会的な文脈から課題解決の具体性を高める。	実社会や実生活との関わりから自ら問いを発見し、主体的に課題と向き合う生徒を育成する。探究の実践を通して、地域社会の一員としての自覚を持ち、よりよい未来の創造に向けて自ら考え行動できる姿を目指す。
3 年 (課題研究)	<普通科> 進路希望に沿って社会問題に関する解決方法に向けて考察する。 進路に関する課題を設定し、情報収集、整理、共有する。	<普通科> 大学公開授業、進路セミナーを通じて理解を深める。	<普通科> 自らが希望する進路や分野に関する問題や課題の発見ができ、問題解決に向け主体的な活動ができる。
	<園芸科> フラワー装飾技能検定3級を目指す。水耕野菜の栽培（メロン・トマト・ハクサイ・コマツナ）	<園芸科> フラワー技能士との連携	<園芸科> 知識技能の習得 主体的に学びに向かう人間性

様式 1

	<p>有機葡萄のマニュアル作りおよび省力化を目指す。洋梨・クリの追熟及び加工について調べ実践する。</p> <p>データを整理しスライドを作成、下級生にプレゼンテーションを行う。</p>		
	<p><造園科>造園科目の専門知識と技術に関連付けて自ら考え諸課題を見だし、プロジェクト学習を実践する。</p> <p>設定した課題の解決方法を探る。グループや個人で課題解決に向けて実践する。</p>	<p><造園科>マイスター制度の利用。</p> <p>環境整備等への参加</p>	<p><造園科>主体的に行動が でき様々な学習体験から知識や技術を身に付け職業について理解し、進路実現に向けて自信を付けさせる。</p>